



市立総合病院増改築事業の

実施設計が完成

総事業費は約 1 1 1 億円

市立総合病院増改築事業の実施設計が、平成16年10月29日に完成しました。この事業は、15年11月に(株)岡田新一設計事務所(所在地：東京都)と契約を締結し進めていたものです。現在の民間棟(食堂・民間委託職員の控室など)を解体し、11階の高層棟の建設と放射線棟・新館の改修などを行う計画です。

患者の快適性を向上

市立総合病院増改築事業は、県北部における地域の基幹・中核病院として2次医療(入院患者など重症患者への医療)を中心に市民・地域住民へ質の高い医療の提供と患者アメニティ(利便・快適性)の向上を図るために、実施しようとするものです。

実施設計に当たっては特に、健康を回復する場・癒やしの場としての機能の充実や、バリアフリーなどに配慮しながら、設計者と協議、検討を重ねてきましたので、今回の実施設計には十分にその内容

が反映されたものと考えています。

増改築事業の動き

- 平成8年・病院リニューアル実施検討委員会を設置
- 12年・医療・福祉関係者、公募の市民などで構成する「市民懇談会」を開催
- 13年・大館市立総合病院増改築事業基本方針を決定
- 14年・設計プロポーザルコンペを実施し、1月の最終審査で(株)岡田新一設計事務所を最優秀に決定
- 15年・7月に基本設計が完成
- 16年・10月に実施設計が完成

問 市立総合病院
企画課
☎42 5370
(内線650)